

Dr.はらだのみちくさ

カゼイ菌と僕⑥



どのような細菌を使って研究を行うか検討することになりました。信州大学のベンチャー企業で乳酸菌の一種であるビフィズス菌を使った研究はすでに行われていました。ビフィズス菌は莢膜という表面を覆う膜が厚いので、菌の中で作られた物質が外に出にくいいため、莢膜が薄いカゼイ菌が候補となりました。一般的にカゼイ菌は酸素があってもなくても生きていける菌なので、通常のカゼイ菌を投与すると体中に散らばり、そこで増えてしまいます。そのため、ある研究機関で開発した特殊なカゼイ菌を用いることになりました。それがこの研究で使うことになったKJ686というカゼイ菌でした。これは酸素が少ないところで増殖できるものの、酸素が多いと死滅してしまう性質があります。がん組織の中は酸素が少ないので、KJ686は増殖できます。

スタッフのつぶやき

看護師の峯村です。

春ですね。春と言えば、昨年お花見で初めてパッタイを食べました。すごくおいしくて、日本の焼きそばとは違った新しい味に感動でした。あれから1年かぁーとしみじみしますが、今年も楽しみにお花見に行きたいなと思っています。



事務の米沢です。

我が家には10年目になるワイヤープランツが鎮座しています。春が近くなるとワシャワシャする度に緑が増し大きく成長します。花言葉の通り愛らしく気持ちを穏やかにしてくれる可愛い子です。



南ながの公園クリニック

院長 原田道彦 長野市篠ノ井東福寺3819
乳腺・甲状腺◆各種検診◆内科◆外科

予約優先◆初診の方もまずはお電話ください。

☎ 026-285-9209 ☎

◎ 土曜日受付時間 8:30~13:00 ◎

受付時間	月	火	水	木	金	土
8:30~12:00	休	●	●	●	●	◎
14:30~17:30	●	●	休	●	●	休